

衆議院文部科学委員会ニュース

平成 23.5.20 第 177 回国会第 11 号

5 月 20 日（金）第 11 回の委員会が開かれました。

1 文部科学行政の基本施策に関する件

- ・高木文部科学大臣、仙谷内閣官房副長官、笠文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

和 嶋 未 希君（民主）

- ・東日本大震災で両親が死亡、行方不明となった震災孤児の人数及び保護引受先の状況について伺いたい。あわせて、震災孤児に対して民間団体及び公的機関の奨学金及び一時金等の支援制度が同時に利用できる枠組みが必要であると考えますが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・公益財団法人日本科学技術振興財団の簡易放射線測定器の貸出業務（文部科学省委託事業）の目的及び事業内容について伺いたい。あわせて、来年度予算要求では、東日本大震災後の状況を考慮して他の原子力関係の公益法人を含めた委託事業内容の見直しが必要であると考えますが、大臣の見解を伺いたい。
- ・東日本大震災の被災地における教員数の充足状況について伺いたい。

馳 浩君（自民）

- ・財団法人日本漢字能力検定協会の前理事長の解任、現理事長の選任の議決がなされた臨時理事会（平成 23 年 3 月 5 日開催）について、前理事長からの中止する旨の事前通告や理事の欠席状況、また、当時の非常勤理事への利益供与の疑念があることを踏まえ、正当性・民主性に問題があったと考えますが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・同協会の現理事長について、過去に東京都教育委員でありながら、同時期に政治団体に所属していたことが、「委員は、政党その他の政治的団体の役員となり、又は積極的に政治運動をしてはならない」と定める地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 11 条第 5 項に反するものと考えますが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・同協会が実施する「日本漢字能力検定」について、同協会が有する内部留保額や資産総額に鑑み、検定料をさらに引き下げる必要があると考えますが、文部科学省の見解を伺いたい。

竹 本 直 一君（自民）

- ・現在、技量審査場所が行われている大相撲について、次回の名古屋では本場所として開催すべきと考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。また、東日本大震災による避難者が観戦できるように被災地での開催等を検討してはどうかと考えるが、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・経済的に困難を抱える学生に教育の機会を与えるために重要な奨学金事業について、返還不要の奨学金の必要性について文部科学省ではどのように受け止めているのか。また、我が国の若者の励みとなるよう、欧米のように優れた学生に対し、民間資金も活用した奨学金制度を新設して、閉塞感を払拭すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- ・我が国では、諸外国に比べてなかなか英語を話す力が身に付かないという状況があるが、大学に対する国の支援において公私間格差があるのではないかと、あわせて、我が国の大学の国際競争力の向上を図る必要性について、文部科学省の見解を伺いたい。
- ・北朝鮮による拉致問題の教科書における取り上げ方において、出版社によってその記述の内容にかなりの差が生じている現状について、教科書検定を行っている文部科学省の見解を伺いたい。

池 坊 保 子君（公明）

- ・政府が設置を予定している原子力事故調査委員会の委員の人选、会議や配付資料の公開の有無、国際原子力機関（IAEA）の関与の在り方及び同委員会の政府内での位置付けについて、仙谷内閣官房副長官の見解を伺いたい。
- ・原子力事故調査委員会の設置については、慎重に進める必要があり、閣議決定ではなく、法的な位置付けが必要ではないかと考えるが、仙谷内閣官房副長官の見解を伺いたい。
- ・小佐古内閣官房参与の辞任の経緯について伺いたい。あわせて、国会における同氏の参考人としての意見聴取と守秘義務との関係について、内閣官房の見解を伺

いたい。

宮本岳志君（共産）

- ・日本国憲法第 13 条（幸福追求権）及び第 25 条（生存権）において、スポーツを享受する権利が含まれるかどうかについての大臣の見解を伺いたい。
- ・我が国における体育・スポーツ行政は、「体育およびスポーツに関する国際憲章」（1978 年 11 月 21 日 ユネスコ総会採択）に沿って行われていると思うが、大臣の見解を伺いたい。
- ・戦前のオリンピック第 12 回東京大会（1940 年）の中止や戦後の第 22 回モスクワ大会（1980 年）における我が国の不参加の歴史を考えると、スポーツにおいては、政治情勢等に左右されない自主性、自律性の確保が重要なものであると思う。そのような観点から、文部科学省が、体育・スポーツ行政の振興に当たって、国家戦略や「スポーツ立国戦略」という呼称を用いているのは妥当であるのか、大臣の見解を伺いたい。